

# 子どもお仕事参観日

子どもたちが親の職場を見学する「子どもお仕事参観日」。  
働くパパ・ママに触れる機会は、親子の絆を深め、新たなコミュニケーションを生み出すとともに、職場と家族の交流により、仕事と育児・家庭の両立の意識醸成につながります。



## 株式会社 清水組（男鹿市）

業種／総合建設業 従業員数／61名

一ゆたかさ創造 やさしさ創造—  
創業明治38年(1905年)の総合建設業者。115年間、地域に根差し、常に新しいことにチャレンジし続けています。

参観日の参加者：子ども5名

### 当日のスケジュール

10:00	集合
	テトラポッド製作の見学
	社長からのお話
12:00	お昼ごはん
	しゅんせつ 浚渫作業の見学
	乗船体験
15:00	まとめ



### お仕事参観日のはじまり

5人の子どもたちが、お父さん、お母さんの職場にやってきました。子どもたちを温かく迎えてくれた従業員の皆さんから、工事現場で行っている作業について説明してもらい、いよいよ参観日が始まります！

### テトラポッドができるまで

まずは海でよく見かけるテトラポッドの製作現場を見学させていただきました。大きな型枠に生コンクリートが流し込まれる様子に、子どもたちは圧倒された様子。コンクリートの強度を測るためのテストピースを作る体験もしました。



## 建設業って何をするの？

社長から「地元の建設業で働くこと」をテーマに、お話をしてもらいました。建設業は、色々な役割を持つ人が多く働き、地元に貢献しているということ学びました。



## しゅんせつせん 浚渫船に乗ってみよう

最後は日本有数の巨大なグラブ浚渫船の見学です。海底の土砂をすくい取る様子を見せてもらったり、船内をみんなで探検したりしました。今回のお仕事参観日で、建設業ってどんな仕事なのか分かったかな？

## 保護者から

- 子どもを職場に連れてきて、現場を見せるのは初めてでした。楽しみながら建設業の仕事を体験できたと思うし、自分の仕事を見せることができたので良い機会となりました。
- 普段は事務職であるため、自分自身もしっかり現場を見る機会は少なかったですが、今回は子どもと一緒に現場の雰囲気を知ることができて良かったです。
- 子どもが現場を見たいと言えば連れてくることもありましたが、今回は浚渫船にも乗ることができて、よい体験となったのではないかと思います。



## 子どもたちから

- 建設業には、色々な役割を持つ人が働いていることが分かりました。
- お母さんがどんな仕事をしているのか分かってよかったです。

